

事務事業名	全国市議会議員会参画事業				担当	議会議務局 議事課 庶務係		
政策名	H	施策体系外			電話番号	0285-83-8176		
施策名	1	施策体系外の事業			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	全国市議会議員会則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29年度～）		
予算科目	1. 一般会計	1. 議会費	1	1		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度 年度～ 年度）		
事業概要	全国の市議会が地方自治の本旨にそい、地方自治の発展のため、協調協力関係を構築し、共通の課題について情報交換や協議そしてその処理、または、国や関係機関への要望等を行っている。・全国的連合組織で、総務大臣への届出団体である。・「地方六団体」のひとつである。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 23年度実績 ・全国市議会議員会定期総会（日比谷公会堂）（議長、局長、運転手） ・全国市議会議員会研究フォーラム（青森市）（議長、副議長、局長） ・事務局職員研修（東京）（職員1名） 24年度計画 ・全国市議会議員会定期総会（日比谷公会堂）（議長、局長、運転手） ・全国市議会議員会研究フォーラム（松山市）（議長、副議長、局長） ・事務局職員研修（東京）（職員1名）	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
ア	会議の数	回	3	4	3	3	3	
イ								
ウ								
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 全国の市議会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
ア	全国の市議会の数		806	806	806	810	810	
イ								
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 全国の市議会が地方自治の本旨に沿い、地方自治の発展のため、協調協力関係を構築し、共通の課題について情報交換や協議または、国や関係機関への要望等を行う。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
ア	国や関係機関への要望や意見書の提出		27	27	26	30	31	
イ								
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 日々変化する時代をとらえ、地方自治の強化促進と、適切な議会運営を行う。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
ア	要望等の実現数		1	1	1	1	1	
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	566	569	563	719	0	
	事業費計(A)	千円	566	569	563	719	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	38	38	38	38	0
		人件費計(B)	千円	159	154	162	161	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	725	723	725	880	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	全国の市議会の一員として、その相互間の連絡、共通する問題協議及び処理のため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	特になし。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・国、関係機関への施策の提言や要望等を行っている。 ・共通する課題の情報収集や処理を行っている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・全国市議会の総意で行っている。 ・情報収集を一括して行い、各市議会に発信してくれる。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・全国の市議会議長を対象にしているので適切である。 ・意図についても現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・目的を定め最小限の事業を行っており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・全国市議会の協同歩調からはずれることになる。また、情報収集が困難になる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・人口割で算出された、負担金であるので削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・負担金の支払い事務及び議長の随行(最低限の)の旅費であり、削減できない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・本来、議会及び事務局が行う事務を、共同、代行して行っており、公費を負担すべき性格のものである。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							